

国文学会 活動の記録

【特別講演会】

令和五年六月一七日（土） 開催場所 奈良教育大学大講義室

・宮沢賢治の「同時代」

——戦後受容と生前雑誌発表作から——

服部 峰大（奈良教育大学）

・近代語資料としての『赤い鳥』

山田 実樹（奈良教育大学）

・私の歩いた道

——国語科単元開発への道——

米田 猛（奈良教育大学）

奈良教育大学国文学会会則

第一条 本会は奈良教育大学国文学会と称する。

第二条 本会は日本語学・日本文学・漢文学・国語科教育・伝統文化教育・国際理解教育における研究と実践の進展を期し、奈良教育大学国語教育専修、大学院（専門職学位課程・修士課程）に関わるものが相互に知識見解を交流する場とし、また、親睦を深めることを目的とする。

第三条 本会は前条の目的に添って次の事業を行う。

- 1、年一回の大会・報告会の開催。
- 2、学術研究発表会・公開講演会の開催。
- 3、機関誌『奈良教育大学国文 研究と教育』の発行。
- 4、その他、必要と認められる事業。

第四条 本会は、奈良教育大学・大学院の卒業生・修了生・在学生・教員・元教員、及び本会則第二条が定める趣旨に賛同するものを以て構成する。

第五条 本会の運営は次の委員会を組織して行う。

- 1、代表 一名（運営委員に含む）
 - ・運営委員会を統括する。
- 2、運営委員会 若干名
 - ・主要事項の決定・執行、事務処理、大会の企画・運営を行う。
 - ・運営委員会において次の担当を設け、各任務に当たる。
 - 大会担当 奈良教育大学国文学会大会の運営・開催に当たる。
 - 編集担当 『国文』の編集・発行を行う。
 - 名簿担当 学会運営に係る名簿を管理する。

第六条 役員の任期は二年とする。但し、再任を妨げない。

第七条 本会の経費は寄付を以てまかなう。

投稿規定

1. 投稿は、奈良教育大学国文学会会則第四条を満たすものであれば、どなたでも構いません。
2. 投稿原稿の種類は、研究論文、研究ノート、実践報告、調査報告、資料紹介、書評とします。
3. 投稿論文の採否は、当会運営委員会（編集担当）または当会運営委員会が委嘱する査読委員による査読審査によって決定します。
4. 研究論文は学会規定のフォーマットで12枚程度を基準とします。
5. 研究ノート、実践報告、調査報告、資料紹介、書評は、学会規定のフォーマットで12枚程度を基準とします。
6. 投稿締め切りは、毎年1月末日（必着）です。
7. 投稿は下記宛てにお願いいたします。

nara.edu.kokubun@gmail.com

編集後記

コロナ禍や本学大学院改組等の影響を受け、本会は二〇二三年六月の大会において、二〇二三年度より休会することを決めました。そのため、二〇二三年度は大会を開くことはありませんでしたが、特別講演会を開くことができました。今年度、国語教育講座にあらたにお迎えした、山田実樹先生（専任講師、日本語学）、服部峰大先生（特任講師、近代文学）、また、五年間お勤めいただき今年度をもって定年により退任される米田猛先生にご講演を行っていただきました。

この間、国語教育講座スタッフで何度か会合を開き、本会の今後、あるいは機関誌『奈良教育大学国文 研究と教育』について協議を重ねてきました。結果、本誌については、全面的にオンライン化し、奈良教育大学学術リポジトリ（NEAR）で公開されるオンラインジャーナルとして発行を続けることとしました。具体的な事柄は、運営委員会を臨時に組織し、検討をおこないました。

奈良教育大学国文学会運営委員会

第一回 二〇二三年一月一日開催

第二回 二〇二四年二月六日開催

橋本昭典（代表、大会担当）

有馬義貴（編集担当）

藤井隆輔（編集担当）

前田広幸（名簿担当）

松井真希子（編集担当）
山田実樹（大会担当）

二回の運営委員会に加え、講座会議でも議論を重ね、試行錯誤しながら、なんとかここに、四七号を「オンラインジャーナル化準備号」として発行することができました。

休会中のため、広く投稿を募ることはありませんでしたが、たいへん充実した内容となりました。米田猛先生のキャリアを総括するご講演の記録、新任の山田実樹先生、服部峰大先生のご論考、また、奈良女子大学との法人統合を受け、附属学校との連携も推奨されるところですが、奈良女子大学附属中等教育学校の井浪真吾先生（現在は岡山理科大学へ転任）と有馬義貴先生の共著論考、さらに国語教育講座は大学院改組により専門職学位課程と修士課程とを跨ぐこととなりましたが、修士課程は伝統文化、書道、国際理解が一体となった課程であり、そこから生まれた北山聡佳先生と橋本の共著論考、そして、その修士課程に在籍する院生で篆刻を専門とする藤井郁子さんの中国での学会参加報告を掲載しています。ご執筆いただいたみなさまには、ご投稿ならびに本誌オンライン化という初めての試みへのご協力ありがとうございました。

本会は、二〇二四年度は活動を再開することとし、大会を行い、四八号をオンラインジャーナルとして発行する予定です。また、会の運営方法の変更、それに伴う新会則についても、上記運営委員会と議論し、決定しています。詳細は、二〇二四年度の大会でお知らせ・おはかりいたします。会について、「不明点等」ございましたら、

本誌奥付メールアドレスまで問い合わせ願います。

本誌オンライン化にあたり、投稿フォーマットの準備・作成に始まり、入稿後の編集作業に至るほとんどを、奈良工業高等専門学校
の松井真希子先生と藤井隆輔先生が担ってくださいました。お二人
の尽力がなければ、本号はこのような順調な実現をみなかったと思
います。心より感謝申し上げます。
(橋本昭典 記)

奈良教育大学

国文 研究と教育 第四七号

発行 二〇二四年三月三〇日

発行者 奈良教育大学国文学会

〒六三〇一八五二八 奈良市高畑町

奈良教育大学国語教育講座内

nara.edu.kokubun@gmail.com